

中学校技術・家庭科(家庭分野)学習指導案

日 時:令和7年 11月15日

場 所:被服室

学 級:3年 C組 35名

指導者:神澤 志乃

1. 題材名:持続可能な衣生活を考える ―ポリエステル素材に着目して―

2. 題材の目標

- ・ポリエステルの特性を科学的に理解し、それを根拠として生活上の選択や判断に活かすことができるようになる。
- ・健康や環境への影響を考慮しながら、自分や集団の願いに基づいて、持続可能な生活のあり方を構想できるようになる。
- ・理科で学んだ知識と家庭科で学んだ知識を結び付け、課題を多面的に捉え解決策を考えることができるようになる。
- ・ICTなどの道具を活用して多様な情報や観点を取り入れ、その妥当性を批判的に吟味したうえで、自分の判断を再構築できるようになる。

3. 題材設定の理由

本題材は、教科横断的・領域横断的なアプローチにより設定した。衣服材料である繊維は、生徒にとって日常生活との結び付きが見えにくい内容であるが、理科や消費生活、環境領域の学習と関連付けることで、総合的な探究的学びへと発展させることを意図した。家庭分野において求められる課題解決的な学習を通して、生徒が自らの生活を見つめ直し、家庭や地域においても持続可能な衣生活を実践していく力の育成を目指している。

4. 学習指導計画(全 6 時間)本時:第5時

	学習内容	使用教材・資料 ◇理科との横断ポイント
1時	【導入】 衣服材料としてポリエステルが多く使用されていることとその理由に気づく。	6種の衣料サンプルを準備 A フリース上着 B マイクロファイバーひざかけ C 機能性の肌着(ヒートテック) D ダウンに似たポリエステルわたの上着 E 制服 F 綿のTシャツ ◇ポリエステルとプラスチックの関連
2時	【環境問題との関わりと人権的な視点から考える】	国連広報センターのページ 環境省サステイナブルファッション を参考にする。

		◇リサイクルポリエステルをつくる ◇フリースをつくる
3時	【ポリエステルのSDGs課題】 ～持続可能な取り組みからのテーマ設定～ グループ活動 私の衣生活サステナブル宣言(第一回目) 宣言をし、それについての他者からのコメントを共有する。	・中高生の活動の紹介動画(学生団体の「やさしいせいふく」) ・アパレル企業の資料(公開されているもの)の提示 ・「EUのエコデザイン規則」についてふれる。 ・古着の回収・再生システム、長く着る工夫(補修・リメイク・正しい洗濯方法)の資料やリサイクルのコストについて、実態がわかる資料を提示する。
4時・5時	【課題解決的学習活動】 各班で課題を考える。 <課題の例> ①リサイクルポリエステルの可能性 ②ポリエステルとマイクロプラスチック問題 ③制服やスポーツウェアとポリエステルの利便性 ④未来の持続可能な衣生活デザイン ⑤フェアトレードと人権の視点から考える衣生活 ⑥私たちの暮らしの工夫と責任ある行動→ポスターなどで表現	ポスター制作はiPadを用いて、行う。
6時	【まとめ・発表・振り返り】 衣生活サステナブル宣言第2回目	iPadで発表し、共有する。

5. 本時の学習指導

(1)目標

- ・ 持続可能な衣生活について、これまでの学習をもとに自分の考えを整理し、他者に分かりやすく発表することができる。
- ・ 他者の意見を受け止め、自分の生活に生かそうとする態度を養う。

(2)本時の展開

時間	学習活動	留意点・指導上の工夫 ◇評価
導入(5分)	1. 前時の振り返りと本時の学習の目標と流れの確認	理科で学習したポリエステルの性質やこれまで学んだ環境問題について想起できるよう、ポートフォリオを参照するように促す。
展開①(10分)	2. 設定課題の確認とグループでの探究活動	前時におこなった「サステナブル宣言(第1回目)」を想起し、各班

時間	学習活動	留意点・指導上の工夫 ◇評価
	<ul style="list-style-type: none"> ● 探究テーマ例リサイクルポリエステルの可能性 ～資源をむだにしない未来へ～ ● ポリエステルとマイクロプラスチック問題 ～見えない汚染を考える～ ● 制服やスポーツウェアとポリエステルの利便性 ～快適さと環境の両立をめざして～ ● 未来の持続可能な衣生活デザイン ～新しい素材と暮らしを創造しよう～ ● ポリエステルとフェアトレード・人権の視点 ～「安さ」の裏にあるもの～ ● ポリエステルと私たちの暮らしの工夫 ～長く大切に使う衣生活～ 	<p>で課題意識を共有し、学習の方向性を明確にできるように助言をする。</p> <p>情報の信頼性(出典)にも注意を促す。</p> <p>◇ワークシート</p>
展開②(15分)	3. 各自の端末を使用し、ロイロノートを使ってポスターを作成する。	<p>理科で学習した科学的理解や、これまでのポートフォリオを活用し、家庭科の視点から生活提案につなげるよう助言する。</p> <p>◇ロイロノート</p>
まとめ(15分)	4. グループ発表・共有・学習の振り返り、次時予告	他者の意見を参考にしながら、自身の考えを整理し、次時の個人による「サステナブル宣言(第2回目)」につなげる。

評価規準

- ・知識・理解: ポリエステルの特徴や環境へ及ぼす影響を正しく理解できているか。
- ・思考・判断・表現: 持続可能な衣生活に向けて自分の考えを根拠をもってまとめられているか。
- ・主体的な態度: 自分の衣生活にいかして、主体的に行動しようとしているか。